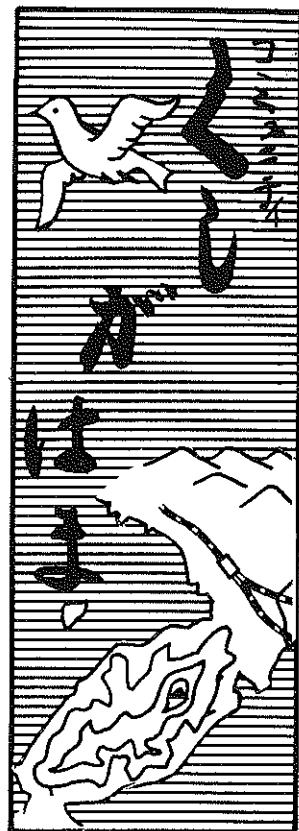




太華山 親子でがんばる ハイキング

(4月29日)



第 8 号

昭和57年 6月25日 発行

榊浜コミュニティセンター

運営協議会 広報部

☎(0834) 25-2002

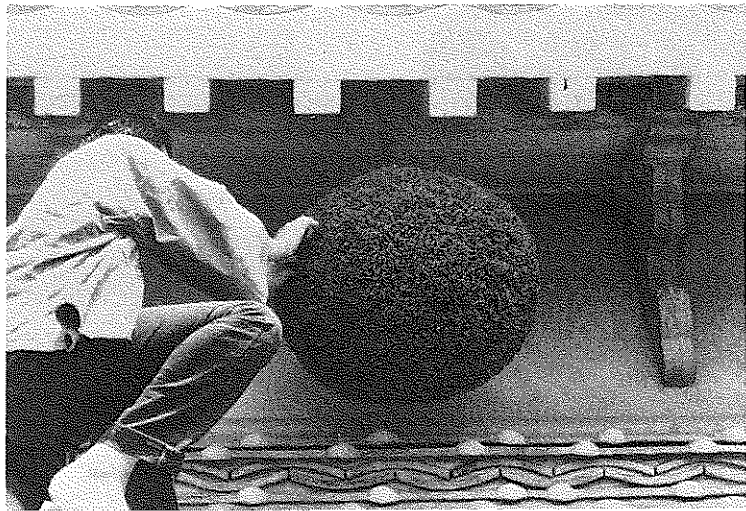
榊浜の人口(6月1日現在)
7,423人(2,370世帯)

0才~14才 男 797人
" 女 745人

15才~24才 513人
" 446人

25才~59才 1,862人
" 1,900人

60才~ 499人
" 661人



村井酒造の軒下に復活した杉玉

此の度久しく無くなっていました我社の杉玉を復活しました。杉玉は古く酒林といい、新酒ができた印に杉の葉を束ねて軒下につるしたのが始まりで、酒を大変好んだあの一休禅師が「極楽をいづこの里と尋ねれば杉の葉たてる又六が門」と詠んでいることから、室町時代にはもう酒林があったそうです。江戸時代に入りますと皆さん凝り性になって杉葉を球状にしつらえ出来を競い合うようになりました。この頃から杉玉と呼ばれ、酒屋の看板として定着したといわれています。どうして杉を使ったのかには二つの主な説が残っています。単純に酒樽は杉でつくるからとの説。いやいやそうではない古来酒造りの神様奈良の三輪神社の三輪山が全山これ杉の木である。その縁で杉玉を酒屋の印としたのじゃよ。といわれる。さてその杉玉も明治大正年間まで以後作られなくなったようです。我社の杉玉も大正初期のものがずっと昭和30年頃までつるしてあったということです。そこで田布施町の井上さんに杉葉をもらいびっしりとたばねていただきました。およそ5年前飛騨高山の民芸館で見た古い杉玉を思い出しつつ私が丸く刈り込み約1週間で仕上げました。

村井洋一

こんな団体です — こんな活動をします —

檣浜地区社会福祉協議会

- 厚生福祉事業
 - 戦没者慰霊祭の実施。戦没者遺族への線香代贈呈
 - 敬老会の開催、ねたきり老人の見舞老人への年賀状贈呈、シルバースポーツ大会への協力
 - 児童福祉事業
 - 保育園、小学校、ちびっこ広場への助成
 - 青少年健全育成団体の活動への協力助成
 - 中卒就職者への記念品贈呈
 - 母親クラブの活動助成
 - 社会福祉事業
- 社会福祉活動の啓発宣伝

檣浜地区自治会連合会

今年度のスローガン
「毎月一回、十分間、家のまわり
地域の清掃作業をしよう」

檣浜地区内の自治会長で組織し、地区のため協力することを目的とし、地区発展のため必要な自治会の協力、並びに活動を行うことを会則にうたっていますように、明るい住みよいまちづくりを、どのように進めていったらよいかを、コミュニティ推進活動のなかの一環としてとらえ活動をしています。

今年度はコミュニティ活動が発足して三年目ということで、連合自治会の総力を挙げて、環境整備を進めていきたいと考えております。

- 今年度の活動計画として
- 一、交通安全施設の整備と交通安全教育の推進
 - 一、五号埋立事業とそれに伴う交通、区画整理、下水道等の環境整備
 - 一、環境美化運動としての資源ゴミ回収事業の協力体制を図る
- (七月の第三日曜日(予定)、地区一斉清掃を実施いたします。)
- このような活動を継続的に進めていくためには、地区民の皆さん方一人ひとりの、理解と協力が必要なことはいくらでもありません。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。
2. 社会福祉協議会代議員を中心とした福祉について研修
 3. 環境衛生施設や、福祉施設の見学
 4. 胃がん、子宮がん検診の実施とそれへの助成
 5. 交通安全推進委員会への協力
 6. 火災など被災者への見舞
- これらは、各自治会を通じてお出しただいたい会費をはじめ、市や市社協の交付金、善意銀行の配分金等で行っております。
- なお、オアシス運動も展開したいと思っております。ご協力の程を。
- おはよう
ありがとう
しつれいします
すみません

横浜コミュニティセンター運営協議会 昭和57年度事業計画並びに役員 (五十音順)

- 顧問 浅田道雄、小林米雄、藤井 真、大和 清
 会長 石丸 勝 (体育振興会長)
 副会長 浅田育雄 (連合自治会副会長)
 兼重マス子 (婦人会長)
 所長 村井栄治 (杜協会長)
 理事 浅田耕一 (消防団) 磯村忠 (交通安全推進協)
 門脇俊宣 (横浜小) 古村 操 (太華中)
 小島利太 (横浜支所) 清水悦子 (婦人会)
 田中正 (九十九会) 徳原貴志 (青年団)
 中村政市 (栗南2) 野村 栄 (長寿会)
 野村昌利 (連合自治会) 浜田隆一 (子ども育連協)
 藤井美代子 (民生委員会) 倉重佳徳 (横浜小P)
 松田静子 (婦人会) 小西正広 (公民館)
 本居 啓 (自治、体振) 藤本祐子 (婦人会)

専 門 部 (印部長)

- 広報部 井手 智子 (東本町1) 小林万里子 (旭町1)
 小西 正広 (栗南2) 野村 昌利 (中 町)
 浜田 隆一 (東浦町) 松田 静子 (栗南3)
 企画部 浅田 育雄 (東浦町) 浅田 和彦 (東本町2)
 兼重マス子 (栗南1) 小西 正広 (栗南2)
 清水 悦子 (華西大踏) 野村 昌利 (中 町)
 温品 富江 (浴) 義永 勝 (東本町1)
 図書部 磯村 実子 (東浦町) 木村タミエ (鼓ヶ丘)
 田中 靖子 (東本町1) 西田 栄子 (西浦町)
 温品 富江 (浴) 平原 房子 (西浦町)
 堀 洋子 (東本町3) 藤井 硯子 (栗南1)
 松永 充子 (塩 田) 村上 君子 (西磯町)
 米田美智子 (栗南3)

- 昭和五十七年度事業計画
 一、会議
 〇総会 四月
 〇役員会 四・六・九・十二・三月
 二、研修
 〇部会
 〇コミュニティリーダー研修会
 〇先進地視察(他地区と合同で実施予定)
 〇コミュニティ連絡会
 〇コミュニティ計画の完成と部活動の推進
 〇広報「コミュニティくしがはま」の刊行配布(四回)
 三、事業
 〇広報「コミュニティくしがはま」の刊行配布(四回)
 (広報活動の一元化)
 〇サークル活動の促進
 〇地区全体行事への協力(コミュニティ文化祭、講演会)
 〇地区全体行事への協力(コミュニティ文化祭、講演会)
 〇安全 施設の点検整備・防災訓練
 〇快適 清潔整頓 冷暖房の適正
 〇秩序 自治と連帯の心で(他の正しい職員の応待
 使用規定の厳守(時間、後始末)

主 要 行 事

- 4月3日 横浜体育振興会総会
 4日 横浜地区自治会連合会総会
 " 横浜地区社会福祉協議会総会
 10日 横浜子ども育成会総会
 14日 コミュニティセンター運営協議会役員会
 15日 榑ヶ浜駅西駐輪場オープン
 19日 横浜地区社協役員会
 25日 コミュニティセンター運営協議会総会
 29日 親子ハイキング大会(太華山)
 5月5日 横浜鼓南合同慰霊祭
 6日 コミュニティ図書部会
 9日 横浜婦人会ふれあい会
 11日 横浜地区社協企画部会
 12日 横浜交通安全推進協議会総会
 17・22・29日 コミュニティ広報部会
 18日 徳山市コミュニティ推進連絡協議会発足
 " 横浜自治会連合会役員会
 23日 横浜婦人バレーボール大会
 30日 横浜ソフトボール大会(雨天のため延期)
 6月8日 横浜地区自治会連合社会福祉協議会研修視察
 12日 母親クラブ講演会(講師 田辺朝一氏)
 15日 市婦連講演会(講師 佐々木 衛氏)
 24日 読書クラブ発足(講師 山本房雄氏)
 25日 広報「コミュニティくしがはま」第8号配布

センター利用状況 3月1日~5月31日

室 名	利用回数	利用人員
シルバースペース	70	1,916
大会室	33	3,339
和議室	51	910
調理実習室	51	1,128
児童室・学習室	26	406
ロビ	30	483
	31	230
計	292	8,412

ただ今 コミュニティセンターの 会員募集中

一口千円(年間) お申込みは左記へ 横浜コミュニティセンター

横浜公民館 二五二〇〇二 二五〇五二六

横浜消防分団



今年になって、すでに6件です

編集後記

二千三百七拾世帯の 皆様、新企画をはさんで「ミニコミ紙」いかがでしょうか。陽性型という今年の梅雨の様に広報部では 明るい町の話題を積極的に取り入れたらと思 います。皆様の御寄稿 を待っています。